

# 警城時報

行發日九十二  
編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 警城時報社  
發行所 警城時報社  
一部金貳圓 一月金貳圓  
廣告料 一行十四字計五錢  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## 娛樂・享樂の巷を肅清

### 九月から布かれる新体制

#### 縣保安課から發表

縣警察部では從來料理屋、待合つた。また映画館等にあつては行ふ事になり先づ左の商店を決定した。

飲食店をはじめ遊藝場、興行場正午から、遊藝場は午後三時か定した。

等の享樂機關と娛樂方面の取締り、このほか酒類販賣は營業が極めて緩慢であつたため、種別の如何を問はず午後五時か非國民的の行爲が繰返されてゐるを正すべしと、酒を飲事實に鑑み、いよいよ非常時を以て、酒は一人につき二合認給を設け、酒は一人につき一本、但し五人以上の認給を設けたる態度で取締に望む場合は一人平均一合五勺を斷乎鐵槌を下して縣民の非常以内となつてゐる。興行場の精神の刷新を期すべく、金は最高七十錢、演劇興行は最期て立案中であつたが、風俗營高二回を越ゆることは許され業者並に交通業者關係また料理屋、待合等の出入は勿論許活却等取締要綱を決定し、ハイヤーは競馬場、飲食店よ來月一日の興亞奉公日から實施され、一般のハイヤーも施する旨廿八日縣保安課から發せられた。ハイヤーも一般のハイヤーも施する旨廿八日縣保安課から發せられた。ハイヤーも一般のハイヤーも施する旨廿八日縣保安課から發せられた。

### 宿屋の飯も混食

#### 料理販賣價決る

九月一日から料理販賣價格が次

一等地は平、郡山、福島、若

松四市、飯坂、湯野、東山、

### 工員の娛樂問題

#### 大館正吉

かういふと私一人が思はれ

ない職工みたいにおもはれる

かもしねが、現在私のつと

めてゐる處は職工四千人を擁

する某製鋼所であり、私はそ

この旋盤工として、私はそ

る某製鋼所であり、私はそ

この旋盤工として、私はそ

### 五十圓の買物には

#### 一二割の國債を賣る

#### 平商工會で商店を指定

平商工會では平市内商店で五十圓つけ發券品排除と國債消化

圓以上の買物をした客には一割に協力し同時に買物貯蓄の意味

至乃二割の國庫債券を割當て、一般商店で債券の豫約取次を

◎他店で御氣に召さぬ時  
は是非一度  
弊店はほんとうの  
純ドライクリーニング  
機械を使用致し、  
正なる仕事を、優秀な  
技術を望まると方は  
平田町の  
白茶舎 ランドリー

### 新築成る

#### 植田局

植田町郵便局舎は昨年七月以來

約三萬圓を投じ鐵筋コンクリ

二階建新築中であつたが時あ

たかも發材の統制に遇ひ困難と

關ひながら、同町本町

通りにおける偉觀といふべく風

致を添ふるに至つた

### 出征遺家族を廻り

#### 五百圓を騙取

#### 前科三犯の男捕はる

湯本町上川居住田村中妻生れ

湯本町上川居住田村中妻生れ

湯本町上川居住田村中妻生れ

### 平管内の貨物自動車

#### 廿五名共同經營

#### 運送事業組合創立

平管内貨物自動車營業者二十

五名は改正事業法によつて一丸

となり共同經營管理を行ふこと

となり、八月二十八日午後一時から

署に平貨物自動車運送事業組合

創立總會を開き役員を左の如く

決定、事務所を平市十五丁目三

番地におき十月五日から開業

事務所と平津信用組合事務所

所地下足袋配給を行ふ

### 地下足袋配給

平市では九月三日平市二丁目商

工事務所と平津信用組合事務所

所地下足袋配給を行ふ

### 二百十日の天候

#### 小名濱測候所觀測

小名濱測候所の觀測によると九

月一日の二百十日は大体無事

あらうと左の如く發表してゐる

七百三十ミリの颯風第二陣が

目下琉球南方の海上に現はれ

てゐるが、内地一帯を蔽ふ高

氣壓のため北進を阻げられて

ゐる關係上、現在の所ではさし

たると心配もなく、九月一日の

二百十日も流れることもなく

無事だらうと見られてゐる

速かに掘出すこと

(一)減水後の溝渠の清掃また

は浸水をなす灌漑水位を平常

に復させること

(二)倒伏せる稲は速に刈り取

り、合架木又は藁束等を以て支柱

をたて四五株を一緒に軽く結

び立てすること

(三)莖葉に創傷をうけた時は

葉病菌又は穂病菌を誘

發するため可及的速かに六斗

式石灰ボルドー液により消毒

すること

(四)冠水の時間長かつ水溫

高き場合は水稲枯損し枯葉乾

燥する場合は葉を剪り、葉を

夜蚊等が泥濘し孵化せる幼虫

は水稲を食害漸次蔓延すべし

はより誘殺燈による捕殺又は

殺虫劑を撒布すること

### 風水害を蒙つた

#### 水稲の應急處置

石城郡農會では風水害に鑑み左

の如き注意書を農民に配布した

(一)泥土のついた稲は減水時

に竹棒その他で洗ひ落すこと

(二)土砂に埋つた稲は減水後

速かに掘出すこと

(三)減水後の溝渠の清掃また

は浸水をなす灌漑水位を平常

に復させること

(四)倒伏せる稲は速に刈り取

り、合架木又は藁束等を以て支柱

をたて四五株を一緒に軽く結

び立てすること

(五)莖葉に創傷をうけた時は

葉病菌又は穂病菌を誘

發するため可及的速かに六斗

式石灰ボルドー液により消毒

すること

(六)冠水の時間長かつ水溫

高き場合は水稲枯損し枯葉乾

燥する場合は葉を剪り、葉を

夜蚊等が泥濘し孵化せる幼虫

は水稲を食害漸次蔓延すべし

はより誘殺燈による捕殺又は

殺虫劑を撒布すること

### 石城の稲作

#### 平及び

石城地方稲作は前五年平均

月一日行はれるが、日曜日であ

り武蔵長久所願の善男善女で賑

はぶものと察せられてゐる

即ち本年における作況は移植

より分けつ期迄は高温多調を

呈したるも七月下旬より八月

月上旬迄極寒冷の天候持續

したる爲出穂中の稲草に影響

を受けたると又局部的に病害

の發生を見たが其後天候恢復

隔りが見られないものなだ

だから二十歳をこそこそで月収

百圓近いと云つても、その程

度の月収を擲出しに將來ぐん

ぐん仲上つて行くのなら或は

薬晴らしといふことも云

へるかもしれないが、さういふ

瀬測たる出穂の刻に將來に大

きく仲上ることが稀な職工生

活は、何ういふ意味からして

も、世間で喧しく傳へられる

ほど薬晴らしの景氣に恵まれ

てゐるなどは、謂へなからう

とおもふ。

こゝで余分なことのやうで

はあるが、新聞などで無責任

に騒がれてゐる日収二十四と

か三十圓といふ薬晴らし

職工景氣といふのが果してど

んなものか一言觸れてお

きりそれは私たちのやうには

者でなしに、幾人かの者が協

同して多分に商業的にある品

物加工なり製造なりを請負ふ

と云つたやうな場合、それか

ら小さい町工場などで不定期

に注文をきかせる一時期だけ特別

に繁忙をきかせるときがある

さういふ時偶然附はれて行つ

たやうな場合で、さうした特

別な例でもって一般の工場勞

働者の生活状態を律するとい

ふのはどういふ無理である。

### 通信の知識

## 太平洋

須川邦彦

スペイン人バルボアが、パナマ海峡の探検に出発したのは、一五二一年九月六日であった。土人から山の反対側に海があるという話を聞いたので、武装した隊員と獵犬とを率ゐて土人を案内とし、グリーン湾の河口を出発し登山の途についた。岩壁は険しく、道は険しい。数日経たずして病者続出、倒れる者相次ぐ有様であった。併しその意氣は少しも衰へず、深林を穿ち、溪谷を渡り、或は土人の襲來を撃退する等幾度も進軍を妨げられ、具に辛酸を嘗めて漸く山嶺に登り着いたのである。見渡せば、茫々たる水が脚下に現はれた。併し大きな水かと思つた。水邊に下り立つて水を嘗めて、水とわたり、初めて大発見をした。気がついたバルボアは「あの南の海」と叫び、地に伏して神に感謝し、部下の一亦一齊に歡聲を擧げて狂喜した。

やがてスペイン王の名に依つて発見した大海、海中の諸島並に其の周囲の陸地を占領した事を宣言し、證據のため記録を作り部下六十七名に署名させ、木を切つて十字架を作り之を發見の位置に立てたのは九月二十六日であった。

かくして歐洲人は太平洋を見つけた。そしてバルボアの最初の言「南の海」がこの大洋の呼名となつたのであらう。古い地圖にも書物にも「南の海」と明記してある。

マルコポーロが東から歸つて以來、傳説めいた「香料の島」の時は西歐に渡つた。この島の探險こそスペイン人を大洋に帆走させた原因であつた。

ポルトガル人マゼランがスペイン國王の命を受けてセビール

港を五一一九年九月二十日出帆して大洋を横断し、風濤と戦ひ困難をなめ盡して南米の先端を廻り、彼の名のつく海峡の難航路を通過して靜かな大洋に乗入つたのは翌二〇年十一月二十八日であつた。



店商屋釜

電九・九九番



御料理

出前迅速  
むぎとろ  
さつさ

洋酒と喫茶

麗人のサーベス  
氣分本位の店

タイラ・ギンが通り  
グリン・パツカス  
電七二〇番

牛豚

平市田町  
三三三三屋  
電三三三番

江戸前

壽し

小料理

出前  
迅速  
(立食)

平市中央通り  
鮎茂  
電呼五七〇

### 募集

永續者には將來の保證を致します

ボーイさん

◆堅實な營業方針のサロンのお客様は當地方一流の方々です。社交機会は色んな方に接することが成功の糸口ともなります。

調理見習婦人

◆定評あるサロンの調理法を御教授いたします。  
◆見習ひとして調理場に御勤務出来る御婦人に限る。

- ◆14歳以上30歳迄の健康な方
- ◆3年以上勤続出来る方
- ◆親権者若くは本人御來談下さい

平市銀座街  
電話592

# サロン

西村屋藥局

電話3番です

藥品百貨

寫眞機材料の店です

平市本町二丁目

## 西村屋藥局

# 吸入用酸素純度99%

度量衡

モノサシ  
ハカリ  
マス

器量器

体温器  
寒暖計

寫眞機  
材料一式

秤ノ取緒。錘糸。修覆致シマス

## 關内藥局

電話四〇番



肋膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス・扁桃腺・中耳炎・骨膜炎・腰痛・痔疾に...

## 漢方生公華

貼藥  
濕布で名藥

平市五丁目角  
山野邊藥局

## 吉田眼科醫院

平市紺屋町電話六八番

美味で滋養に富み安價で便利な國策に添ふ理想的調味料を御愛用願ひます。知らず知らずのうちに丈夫になる。

天與の食品  
滋養調味料  
三印出しの素

一、原料 本品は太平洋の新鮮なる魚を加工し之を乾燥機にて十二分に火力乾燥製粉したもので、化学的の調味料でなく天與の食品品であります。

一、特長 本品は最も安價にして少量で即座にダシが良く出て滋養に富み御便利です。故に經濟上にも体位向上にも極めて適宜な食品です。

一、用法 味噌汁には水一升量に付約三匁、味付御飯には米一升に付約五匁、野菜色々の味付等には十人前にも付約四匁、又温い御飯、漬物等に振りかけて召上るも格別です。特にお子様方の御飯には是非御用ひ下さい。其の他總ての味付に御使用願ひます。

此の分量は標準です。お好みにより御減下下さい。大量炊事の場合は約半分で充分です。

一、保存 濕氣を帯びないやうに密封に入れて置いて美味し召し上つて下さい。

一、注意 他に類似品があります。小名寄町商標に御注意。三印を御愛用願ひます。

特約店

- 平市五丁目 小名寄町商標
- 武子屋 伊藤商店
- 四倉町 商店 大浦村信用組合
- 福島縣 四倉港

## 今井商店

電話一三二八番  
電話一三三〇番  
電話一三三三番

今井商店鹽釜出張所  
電話二五八番

## 耳鼻咽喉科

醫學博士 增田之

平市紺屋町(電六五一)

## 二葉滋器治療所

平市大町 電話一九三番